

ほん屋

2016(平成28)年12月
5号店
店主:学生図書委員2年
(伊計・下地・呉屋・與那覇)

人肌が恋しい季節になりました。クリスマスと共に過ごす人はお決まりでしょうか。もし、誰もいないのであれば、是非図書館へ。淋しい夜も、楽しい本があればきっと、素敵な一日となることでしょう。

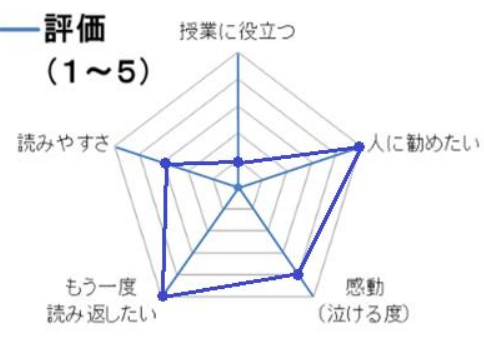
※この発刊紙は、学生が作るニュース（図書館発行）です。
“ほん屋” of the students, by the students, for the students.

本科2年
生物資源工学科
安里 咲空良 さん

『はてしない物語』 (ミヒヤエル・エンデ)



この本は、本の中のファンタジー世界に入りたい...! という幼少期の夢を叶えてくれる一冊です。いじめられてばかりな冴えない少年が、不思議な“本”に翻弄され成長してゆく姿を描いています。キャラクターも自然背景も独特で、壮大なファンタジーエンの世界。ふとした瞬間に、鏡を向けられたかのようにドキッとしてしまう少年のひねくれた性格。読者を引き込む“本”の仕掛けも、他にはない魅力の一つです。本の厚みに負けず、ぜひ「あかがね色」の単行本を読んでみて下さい。



ブックハンティングの 本紹介

『君の名は。』 (新海 誠:原作、加納 新太:著)



ブックハンティングでリクエストした本は、現在、図書館のAVブースの近くの棚に図書委員のレビューと共に集められています。有名な映画作品『君の名は。』の小説版も図書館にあります。他にも、『なれるSEシリーズ』、『特等添乗員αの難事件』など、有名な文庫本が多数あります。

この機会に、手に取ってみてはいかがでしょうか。



『IoTが拓く次世代農業 -アグリカルチャー4.0の時代-』 (三輪 泰史・井熊 均・木通 秀樹)

メディア情報工学科
姉崎 隆 先生

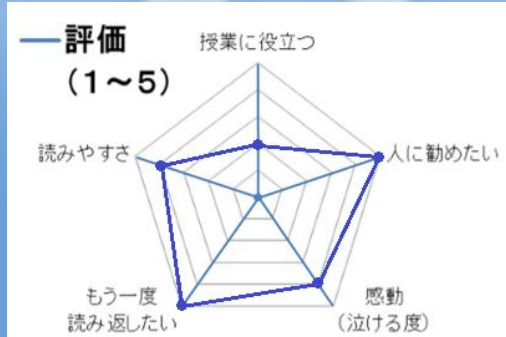
精密農業ということばを最近よく聞く。ドローンによる農水産物作柄計測とICTによる自動生産管理。さらにはICTによる農作業の自動化・ロボット化と伝え聞く。本書では、これらを一括りにしてアグリカルチャー4.0と呼び、解説・展望している。

その中で、日本の小規模農場に合わせ、DONKEYという多機能農業ロボットを提案している。工場で成功したFAセルロボットを想起させる。また、ドローンを起点とした農業のICT化は、ドローンを研究テーマとする筆者にとって出色の事柄であり興味深い。



本科2年
情報通信システム工学科
渡嘉敷 匠 さん

『ロウきゅーぶ!』 (蒼山 サグ)



この物語は、小学生の女子ミニバスケットボール部とそのコーチや周囲の人々が織り成す爽やかスポコメディです。何と言っても素晴らしいのは、その『熱さ』。一筋縄ではいかない相手チームとの対決に、策を講じた手に汗握る試合描写。また、バスケット以外の場でも発揮される彼女たちの友情や信頼関係は、まるで少年漫画を読んでいるかのような気分させられます。

用語は登場人物が説明してくれる上、ライトノベル特有の読みやすさもあり、スポーツが苦手な私でも、最後まで面白く読むことが出来ました。『萌え』と『燃え』、その両方が介在するその繊細さは、やはり、小学生の持つ美しさ(特に深い意味はありません)の為せる業なのかと。



? 本の借忘れはありませんか ?

冬季の長期貸出は12/15(木)からです。ブックハンティングの本も貸し出しを開始しました。長期の休みの間に気になる本を借りてみませんか?

図書館への飲食物の持ち込みは
厳禁です。



店主のつぶやき

2016年の終わりがやってきました。歓喜や安堵、一人一人思うところがあると思いますが.....来年はやってきます。

来年も『ほん屋』を宜しくお願い致します。